

多高通信

第236号 令和7年9月26日発行



さどく ゆたかに たくましく
宮城県多賀城高等学校

多高祭を開催しました!

多高祭実行委員長

3年4組 橋本 颯太(向洋中出身)

7月11日(金)・12日

(土)の二日間、多高祭を開催しました。初日は文化部の発表や有志団体によるステージ、そして実行委員会による企画が行われ、どの団体も発表者自身が笑顔で会場を盛り上げてくれました。実行委員会企画では、昨年度まで続いていた2年間の歴史に幕を下ろし、新たに「絆ーグランプリ」という競技を導入しました。終了後は「楽しかった」「最高だった」といった温かい声を多数いただき、企画者一同、心から嬉しく思っています。



二日目には、たくさんの方々にご来場いただき、会場の至るところで笑顔が溢れていました。まさに「笑顔満載」の多高祭となり、参加者・来場者ともに忘れられない時間を共有することができました。来年も、変化を恐れず、自由な発想で新しい企画に挑戦し、多くの笑顔を生み出す祭りにして欲しいと願っています。

インドネシア交流事業

サンタローレンシア校生徒(インドネシア)と本校生徒とでオンライン交流会を実施しました。今回は今年度の初回でしたので、両校の学校紹介や参加メンバーの自己紹介などを中心に英語でプレゼンテーションを行い、理解を深めました。



1年生 課題研究

「スーパーボールをキャッチする」

を行いました!

課題研究の授業は、自ら課題を発見し、それらを解決するために必要な知識やスキルを身に付けることを目的としたもので、1年次では、「スーパーボールをキャッチする」をテーマに、課題を解決するため

に協働的な活動を行っています。スーパーボールを素早く止める衝撃吸収物を作製し、スーパーボールが動き始めてから止まるまでの時間の短さを競います。

【生徒感想】

- ・1つの見方に囚われず、新しい視点を友人からもらってまた考えたりすることが出来るようになったと思います。
- ・みんなで1つの課題を達成するために切磋琢磨していくことの楽しさを感じられました。
- ・この実験をしてみても、他人の意見を受け入れ、それを自分の中でさらに発展させることが出来るようになったと感じる。
- ・この実験を通して、1つのことに囚われず、いろんな視点から考えることでよりよいものを作ること事が出来るとわかった。少しはあるが、視野が広がったと思う。



災害科学科1年生

栗駒・気仙沼巡検実施!

7月2日(水)～4日

(金)に、栗駒・気仙沼巡検を実施しました。露頭見学や試料採取に適した県内外のフィールドにおける、地学分野の観察・調査の野外実習を通して、私たちを取り巻く地球環境を理解し、また、これまでの学習をもとに岩手宮城内陸地震や東日本大震災の被災地を巡り防災・減災に対する備えを自然科学的、社会科学的に考察することを通して、防災への意識付けの強化を図ることが目的です。

1日目は、栗駒ジオパークにて研修を行い、2日目は気仙沼市内見学、3日目は南三陸町見学という充実した研修となりました。

